



第193回ギャラリー展

早咲きの桜も過ぎ、芽もふくらみ希望の門出の四月となりました。
大牟田出身「黒田」日銀総裁の掛け声に日本経済は景気回復へと動きだし本物の復活を成しとげると黒田マジックを信じるこの頃です。

193回ギャラリー展は筑後井田で作陶をされている吉武和美様の3回目となるふだん使いの楽しい器を40点ほど展示します。

吉武和美様は高取焼きの技法を習得後、瀬戸の加藤唐九郎に薫陶を受け、子息、重高先生に師事、北大路魯山人やこれまでの著名な作家の作品の研究を続け自作の作品に活かされています。

今回は織部の皿、唐津の徳利・割れ山椒小鉢、アワビや魚の形状の皿などさりげなくふだん使いの器に生かした器を展示します。

ここで使える、あそこで使えると思いを膨らませるだけでも幸福の夢の感触を芽生えさせてくれます。

器の楽しさをじっくり味わってくだされば幸いです

第193回ギャラリー展

楽しい器

花宗窯 吉武 和美 作陶展(Ⅲ)

平成25年4月8日～5月10日まで